



12月に実施した教育活動アンケートへの御協力、御意見ありがとうございました。調査結果をまとめましたので御報告します。

調査項目	対象	R2 12月 肯定的%	R3 7月 肯定的%	R3 12月 肯定的%	調査結果から見える課題と対策				
					項目	内容			
1 学校が楽しい	児童	91.7	92.3	○93.1	全体	過去5年間、計10回の調査結果を比較すると、今回、児童・保護者・教員ともに、半数を超える項目で「肯定的評価」が最高の値となり、児童と教員は、半数を超える項目で、「最上位評価」も最高の数値となりました。(○印で表記) 南小や南中では「最上位評価」が低い傾向があり、全体的に素直で真面目に物事に取り組む反面、積極性や自己肯定感の低さに課題がありました。そうした点を打開すべく、南の丘学園として、児童の存在を大事にし、意欲や努力の姿を認める「4つの承認」の声掛けを大切にしてきました。今回の結果から、児童の自己肯定感が高まってきている手応えを感じました。			
	保護者	95.4	93.5	95.3					
	教師	100	100	○100					
2 みんなと何かをするのが楽しい	児童	95	93.8	○96.3			2		
	保護者	95.3	94	96.5					
	教師	100	100	○100					
3 授業がよく分かる	児童	88.7	92	○92				1 2	
	保護者	78.7	78.2	○81.9					
	教師	93.1	76.7	93.4					
4 授業に主体的に(進んで)取り組む	児童	84.4	90.8	○92.9					3 4
	保護者	72.9	82.2	○84.6					
	教師	79.3	76.7	○86.7					
5 話を最後まで聞き、自分の考えを伝える	児童	80.7	80.2	○87.9					
	保護者	64.6	73.5	72.9					
	教師	65.5	60	○73.4					
6 進んで読書に取り組む	児童	80.9	78.8	▲75.7	2				
	保護者	55.8	57.8	57.4					
	教師	93.1	76.7	▲73.3					
7 当番や係(委員会)の仕事に責任を持って取り組んでいる	児童	92.7	89.6	○96.5		2			
	保護者	94.6	93	○95.3					
	教師	96.6	93.3	93.4					
8 気持ちのよいあいさつや返事をする	児童	84.2	88	86.9			2		
	保護者	74.2	78.6	○79.6					
	教師	79.3	93.3	90					
9 学校をきれいにする	児童	89.2	90	○94.3				3 4	
	保護者	82	84.5	○86.8					
	教師	82.8	86.6	○86.7					
10 時と場に応じて「です」「ます」で話す	児童	87	86.2	○88					3 4
	保護者	76.6	74.5	78.3					
	教師	78.6	80	80					
11 授業開始時刻に席につく	児童	86.5	88	○91.2	3 4				
	保護者	87	89.5	○90.8					
	教師	69	70	76.7					
12 はきものを整頓する	児童	86.8	89.5	○90.3		3 4			
	保護者	69.4	72.5	72					
	教師	72.4	90	73.3					
13 命の大切さを分かっている	児童	99	97.2	98.2			3 4		
	保護者	95.4	95.5	○97					
	教師	100	100	○100					

	調査項目	対象	R2 12月	R3 7月	R3 12月	調査結果から見える課題と対策			
			肯定的%	肯定的%	肯定的%	項目	内容		
14	交通ルールを守る	児童	97.8	97	○99.2	8	本校では、「あいさつ」「美しい学校」「言葉づかい」「時とルールを守る」の4項目を『クローバー運動』と銘打ち、月々の生活目標に掲げて実践に取り組んでいます。 設問8～12の5項目においても、児童の評価が高くなっていました。児童は『クローバー運動』に代表される生活のきまりやルールを守るべきものとして強く意識していることが伺えます。 しかし、地域での挨拶が不十分であることや、下校時のマナーや交通ルールが心配であるなどの声が寄せられることもあります。保護者・地域の方の日々の見守りによって、児童の安全が守られていることに感謝し、公共心・公德心を高める取組に力を入れていきます。各家庭でも声掛けをお願いいたします。		
		保護者	95.8	98.2	97.9			9	
		教師	96.6	96.7	○100			10	
15	好き嫌いなく給食を食べる	児童	74.4	75.3	77.7			11	
		保護者	74.2	78.6	○79.3				12
		教師	58.6	60	66.6				
16	目標をもって運動に取り組む	児童	85.7	87.8	○88.3				6
		保護者	74.9	75.6	76.8				
		教師	86.2	83.4	80				
17	家で宿題や自主学習に進んで取り組む	児童	85.5	90	88.5				
		保護者	69.8	71.8	○74.2				
		教師	86.2	93.3	90				
18	親子で将来のことについて話す	児童	65.8	68.5	68.2	6			
		保護者	80.3	86.9	84.3				
19	テレビやゲームの時間などのルールを決めている	児童	73.4	77.3	76.8		6		
		保護者	70.7	78.2	○78.7				
20	学校に信頼できる先生がいる	児童	87.2	91	90.6			6	
		保護者	84.5	89.4	○93.8				
21	子どもの個性を認め、日頃から会話している	保護者	96.8	95.8	○97.2				6
22	袋井南小が進めている教育を理解している	保護者	86.3	80	83				

### 【保護者の皆様よりいただいた意見より】

- Q コロナ対応で遊び時間等が減っています。勉強も大事ですが、人との関わりも大事だと思いますので、できる限り友達と関わり合える活動ができるとありがたいです。  
外遊びが好きなので、昼休みがない日が無いようにしてほしいです。
- A 本校では、午前中は一切日課を変えず、安定して学校生活が送れるように考慮しています。また、昼休みは授業時間と同様に45分間とって、ゆったり遊んだり休んだりできるようにしています。来年度も同様に、昼休みをしっかりと確保できる日課を継続していきます。  
なお、学期始や学期末は、本年度と同様に、学校生活や長期休業生活に徐々に適応できるように、3・4時間授業で昼休みなしの下校とします。また、職員の一斉研修で出張する場合や、3学期に来年度の計画を立てる会議を行う場合に限っては、昼休みなしで特別日課を組む場合があります。  
本年度は、8月に感染拡大が見られました。感染リスクを低減させるため、9月1か月間を特別日課で昼休みなしとしました。しかし、子供たちの様子から遊ぶ時間の確保が必要と判断し、授業の中で学級単位でふれあう活動を実施しました。今後も、感染対策と子供たちがのびのび生活できる環境づくりを両立できるように取り組んでまいります。
- Q 制服ではなく私服か選べるようにしてほしい。また、開襟シャツからポロシャツへの変更、男子の制服に長ズボン、女子の夏服に長袖を追加してほしい。体操服を通気性の良いメッシュ素材にしてほしい。
- A 全国的にも、校則や制服の見直しの声が大きくなってきました。制服の見直しについては、PTAとしての話合いが必要になる内容です。磐周地区や袋井市、袋井南中の状況も踏まえながら、進めていきたいと考えています。  
冬季は、制服の上に防寒着や長ズボン、タイツ等を着用することができます。販売店からは、「男子の長ズボンや女子の長袖については、特注となるため型作りから始める必要があります、ある程度の受注が見込めないと作ることは難しい」との回答がありました。体操服については、メッシュ素材の販売を始めたとのことです。また、男子制服のズボンについても、丈の長い仕様の販売を始めたとのことです。販売店に照会してみてください。